

29年1月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 1月1日～ 29年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は34社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/1月	29/2月	29/3月
仕入動向	国産材	△ 8.0	△ 10.4	△ 2.2
	外材	△ 4.8	△ 13.3	△ 6.9
販売動向	国産材	△ 6.0	△ 6.3	2.2
	外材	△ 4.8	△ 5.0	1.7
在庫動向	国産材	△ 4.2	△ 8.7	△ 2.3
	外材	△ 0.8	△ 9.2	△ 6.0

・国産材及び外材の製材品の仕入れは3ヵ月連続して減少。

・国産材及び外材の製材品の販売は1月、2月の減少から3月はやや増加。

・国産材及び外材の製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/1月	29/2月	29/3月
スギ正角(グリーン)	5.9	5.9	6.7
スギ正角(KD)	22.2	25.0	9.4
ヒノキ正角	10.5	16.7	2.9
ヒノキ土台角	13.2	13.9	2.9
米ツガ正角(現地挽)	5.6	5.9	5.9
米ツガ防腐土台角	8.8	2.9	2.9
米ツガ割物(現地挽)	8.8	8.8	6.3
米マツ平角	5.6	8.8	6.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	23.8	22.5	13.2
ホワイトウッド集成管柱	15.0	8.3	2.8
レッドウッド集成平角	26.3	13.9	5.6
型枠合板(輸入)	41.2	31.3	23.3
針葉樹構造用合板	50.0	30.0	14.3
針葉樹構造用合板(厚物)	50.0	33.3	14.3

・スギ正角(グリーン)はやや強含み、正角(KD)は1月、2月の強含みから3月はやや強含み。ヒノキ正角及び土台角は強含みないしやや強含み。

・米ツガ正角(現地挽)、防腐土台角及び割物(現地挽)はやや強含み。米マツ平角もやや強含み。

・北洋アカマツタルキ(現地挽)は強含み。WW集成管柱及びRW周世平角は強含みからやや強含み。

・型枠用合板(輸入)及び針葉樹構造用合板は強含みで推移。